

WE'RE FOR CREATORS™

# 2019年12月期 第3四半期 決算補足説明資料

2019年11月8日

zoom®

## 株式会社ズーム

（ご注意）本資料の将来の見通しに関する記述については、当社が現在入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいて作成しており、潜在的なリスクや不確実性が内在しております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

本日の第3四半期決算発表に先立ち、2019年10月15日に「連結業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」を適時開示した通り、今期の利益見込みにつきましては大幅に下方修正を行い、配当予想につきましても一株当たり年間配当を34円（修正前63円）へと修正いたしました。

(百万円)

	19.12期		
	修正後 予想	当初業績 予想	増減
売上高	8,411	8,540	▲128
営業利益	281	616	▲334
経常利益	329	673	▲343
親会社株主に帰属する 当期純利益	252	473	▲220
一株配当	34円	63円	▲29円

#### ＜業績の下方修正の主な要因＞

- 第3四半期以降、新製品の発売遅延等の理由で月次の売上が予想に届かなかったこと
- 原価低減活動による売上総利益率の改善が計画どおり進まなかったこと、特に電子部品の調達コストが高止まりしたこと
- 在庫過多となっていた旧製品の値引き販売により売上総利益率が予想より悪化したこと

皆様のご期待に反し下方修正を発表せざるを得なくなったことにつきましては大変申し訳なく、株主の皆様には大変ご迷惑をお掛け致しましたことにつきまして深くお詫びを申し上げます。

今後の事業運営にあたっては、

- 広範なリスクを加味したより現実的な予算設定を行い、売上総利益の改善及び経費削減に継続的に努めます。
- より一層画期的でユニークでユーザーが楽しくなる付加価値の高い製品の開発に取り組んでまいります。

今後とも、日々努力を重ねて参りますので、引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2019年11月8日

株式会社ズーム

代表取締役CEO 飯島 雅宏

# We're For Creators



## 決算概要

## 対前年同期比で増収減益

### 2019年第3四半期累計連結業績

売上高	： 6,248百万円	（前年同期比 + 16.2%）
営業利益	： 124百万円	（前年同期比 ▲ 2.8%）
経常利益	： 101百万円	（前年同期比 ▲ 46.1%）

※子会社化したMogar Music S.p.A.（Mogar社）を2018年第3四半期会計期間から連結

#### ■ 売上高増加要因

- Mogar Music S.p.A.（Mogar社）を連結子会社としたことにより売上が680百万円増加
- ZOOM単体の売上は前年同期比4%増加

#### ■ 営業利益減少要因

- 関係会社に販売した在庫に含まれる未実現利益が94百万円増加

#### ■ 経常利益減少要因

- 為替レートが円高に推移したことにより為替差損が34百万円増加
- 持分法投資利益が23百万円減少
- Mogar社連結により支払利息が16百万円増加

# 2019年12月期 第3四半期 連結損益計算書（要約）



(百万円)

	2018.12期 第3Q累計実績	2019.12期 第3Q累計実績	増減額	摘要
売上高	5,378	6,248	869	Mogar社を連結したことにより売上が680百万円増加 ZOOM単体の売上は前年同期比4%増加
営業利益 (売上高営業利益率)	128 (2.4%)	124 (2.0%)	▲3	関係会社に販売した在庫に含まれる未実現利益が94百万円増加
経常利益 (売上高経常利益率)	187 (3.5%)	101 (1.6%)	▲86	為替レートの円高推移により為替差損が34百万円増加 持分法投資利益が23百万円減少 Mogar社連結により支払利息が19百万円増加
親会社株主に帰属する四半期純利益 (売上高四半期純利益率)	172 (3.2%)	85 (1.4%)	▲86	
EBITDA	336	267	▲68	EBITDA＝営業利益＋※減価償却費＋持分法投資損益
減価償却費	※138	※108	▲29	※のれん償却額13百万円（前年同期4百万円）を含む
研究開発費	670	693	22	
為替差損益	▲4	▲38	▲34	
平均為替レート（円／米ドル）	109.7円	109.1円	▲0.6円	



## Mogar取扱いブランドが売上増に寄与

(百万円)

	2018.12期 第3Q累計実績	2019.12期 第3Q累計実績	増減額	売上高の増減要因
ハンディオーディオレコーダー (HAR)	2,915	2,999	83	H4nPro、H5、H6の販売が好調を維持 前年下期発売H3-VRの新製品効果
マルチエフェクター (MFX)	642	730	87	上期発売G1/B1Fourシリーズの新製品効果 下期発売A1Fourシリーズの新製品効果
デジタルミキサー／マルチトラックレコーダー (DMX)	466	419	▲46	下期発売L-20Rの新製品効果はあるものの、 ヒット商品L-12の初期需要が一巡
ハンディビデオレコーダー (HVR)	264	396	132	前年下期発売Q2n-4Kの新製品効果
プロフェッショナルフィールドレコーダー (PFR)	441	385	▲56	新製品F6の発売開始時期の遅延 ヒット商品F1シリーズの初期需要が一巡
Mogar取扱いブランド	311	927	615	Mogar社が取扱うズーム以外のブランド製品 2018.12期3Qから連結対象
その他	336	388	52	
合計	5,378	6,248	869	

## Mogar社の連結により南ヨーロッパ地域の販売が増加

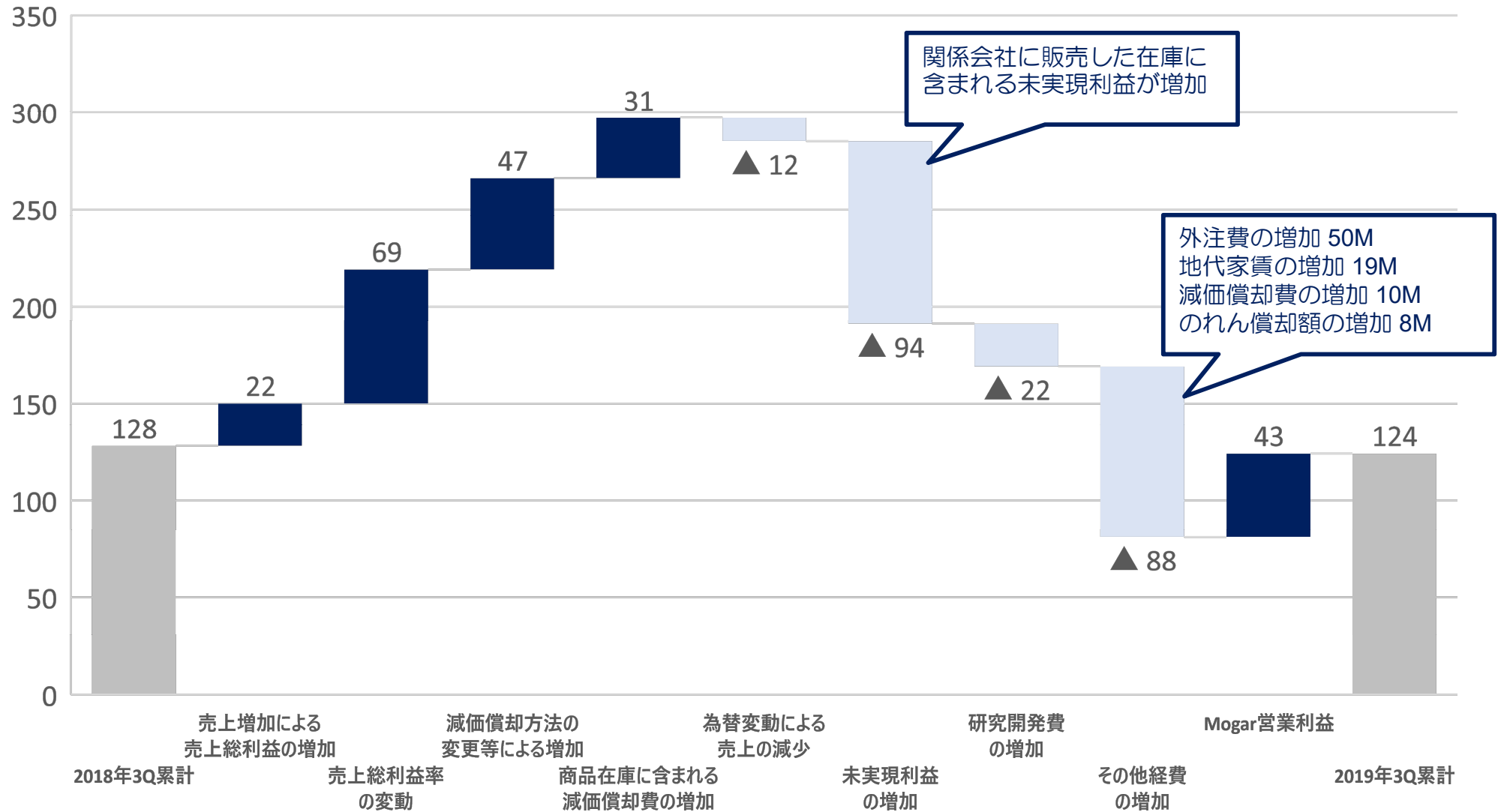
(百万円)

	2018.12期 第3Q累計実績	2019.12期 第3Q累計実績	増減額	売上高の増減要因
北 米	1,895	1,785	▲109	新製品F6、V6、L-8の発売開始時期の遅延
南ヨーロッパ※1	633	1,626	993	Mogar取扱いブランド+615
日 本	503	560	56	MFXカテゴリーの新製品G1/B1/A1Fourシリーズの販売が好調
中央ヨーロッパ※2	637	529	▲107	新製品F6、V6、L-8の発売開始時期の遅延
イギリス	317	348	30	HAR、MFX、DMXカテゴリーの販売が好調
中 国	183	159	▲24	HAR、MFXカテゴリー製品の販売が低調
ロシア	97	131	33	フォトビデオ市場の拡大により、HARカテゴリー製品の販売が好調
オーストラリア	92	103	11	HAR、MFXカテゴリーの販売が好調
その他	1,017	1,002	▲14	フィリピン+35、韓国+33、タイ+12
合計	5,378	6,248	869	

※1. 南ヨーロッパは、イタリア、フランス、スペイン、ポルトガルを含む地域

※2. 中央ヨーロッパは、ドイツ、ベネルクス3国、オーストリア、ポーランド、チェコ、スロバキア、バルト3国等を含む地域

## 営業利益の増減分析 (百万円)





# 2019年12月期 第3四半期 連結貸借対照表 (要約)

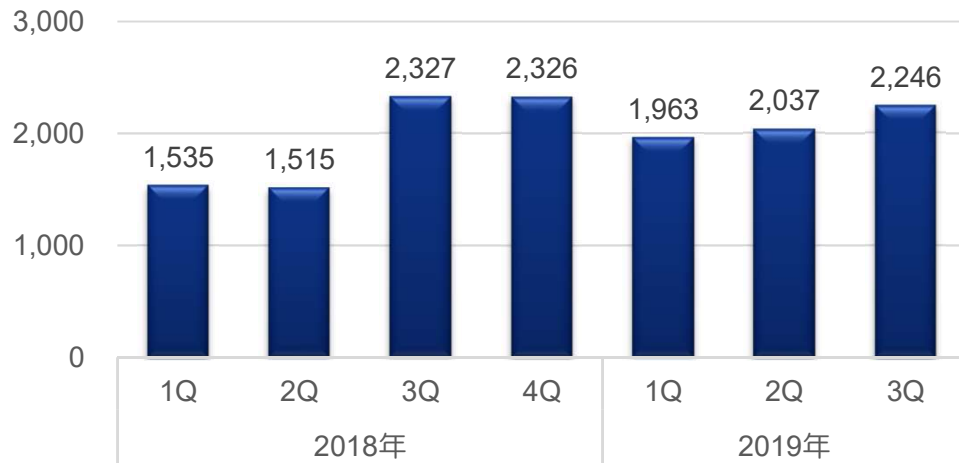


(百万円)

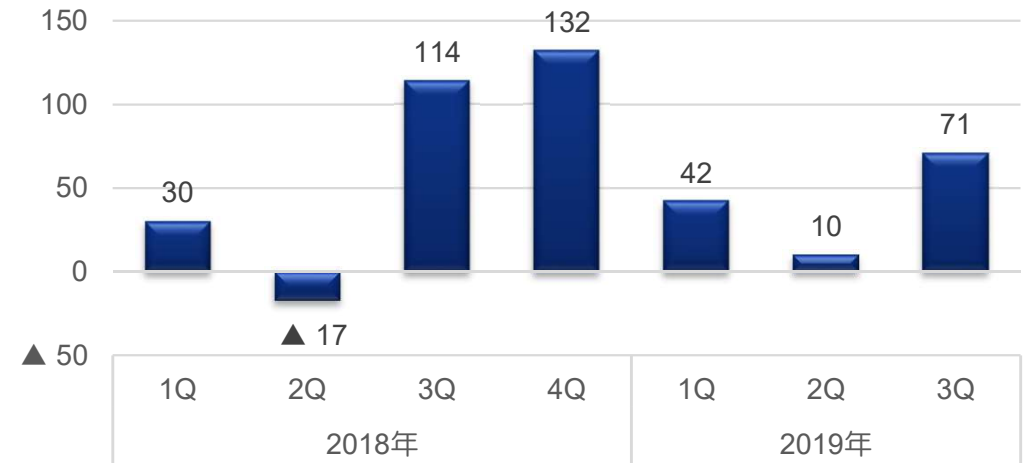
	18.12期末	19.12期 第3Q末	増減額	増減要因
<b>流動資産</b>	6,899	6,392	▲507	
現預金	2,942	1,849	▲1,092	売掛金の増加、買掛金の支払いによる減少
売掛金	1,161	1,578	416	第3四半期は年末商戦の需要により売上が増加
商品及び製品	2,146	2,089	▲57	
<b>固定資産</b>	1,035	1,179	143	
有形固定資産	206	420	214	IFRS第16号適用によるMogar社保有資産の増加、金型の増加
無形固定資産	259	255	▲4	
投資その他の資産	569	503	▲66	
<b>資産合計</b>	7,934	7,571	▲363	
<b>流動負債</b>	3,052	2,705	▲347	
買掛金	1,336	1,019	▲317	18.12期末は旧正月前の在庫確保により仕入が増加
短期借入金	1,174	1,245	70	
<b>固定負債</b>	149	178	29	
<b>負債合計</b>	3,201	2,883	▲318	
<b>資本金</b>	212	212	—	
<b>純資産合計</b>	4,732	4,687	▲44	配当金の支払等により利益剰余金が減少
<b>負債純資産合計</b>	7,934	7,571	▲363	

# 2019年12月期 第3四半期 売上及び利益の推移

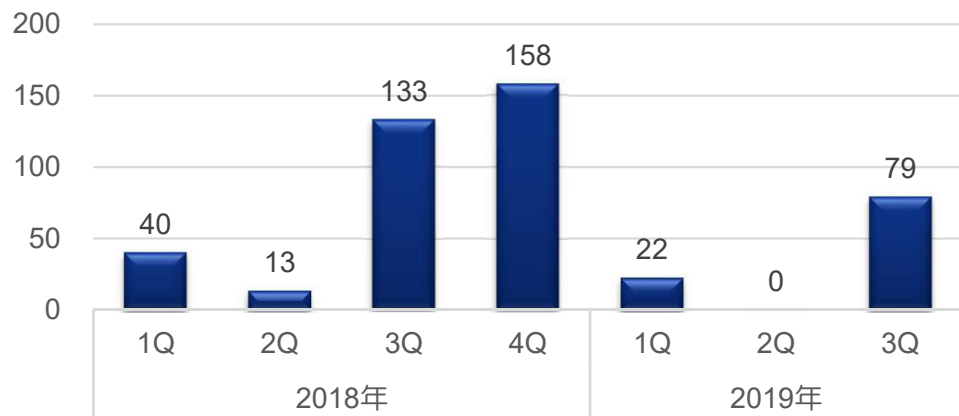
## 売上高 (百万円)



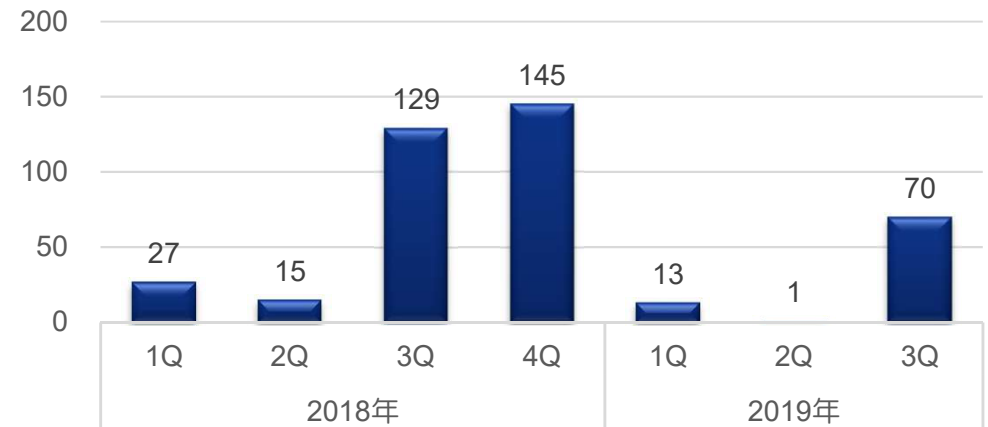
## 営業利益 (百万円)



## 経常利益 (百万円)



## 親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)



売上及び利益は下半期に多くなる傾向

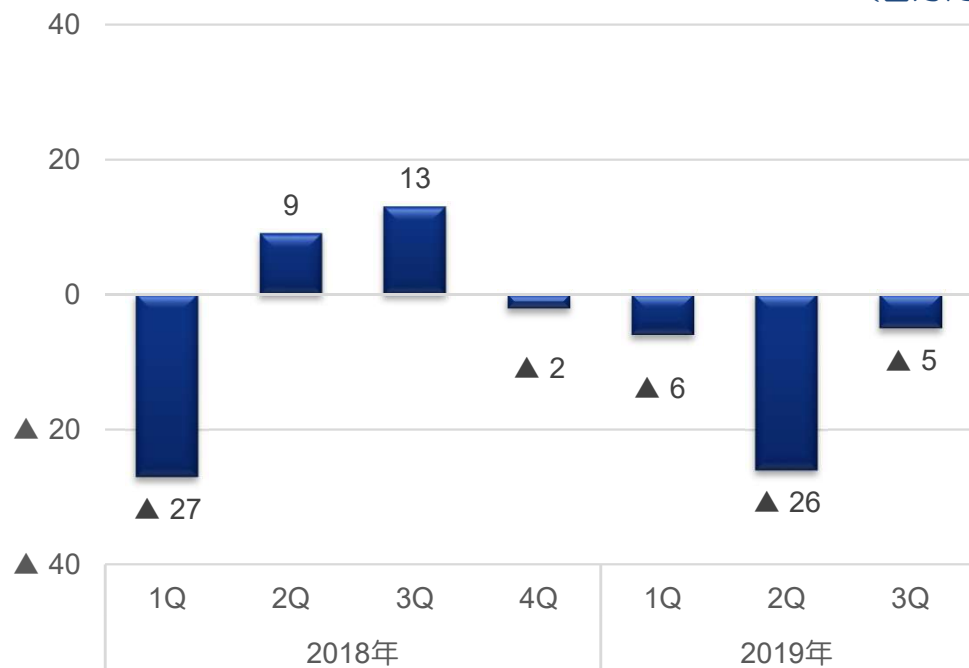
## 経常利益変動要因 ①為替差損益

主として、為替変動により正味ドル建資産から生ずる為替換算差額

ドル建資産とドル建負債の残高をなるべくマッチングさせるヘッジ（いわゆる為替マリー）を実施しているがいくらかの為替差損益は発生する

### 為替差損益

(百万円)



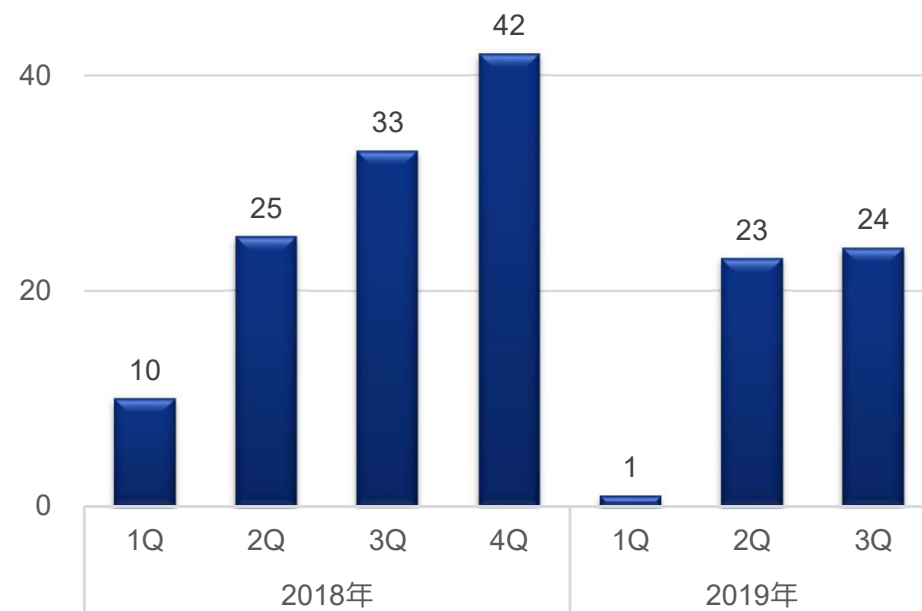
## 経常利益変動要因 ②持分法投資損益

持分法適用会社である、ZOOM North America LLC (ZNA)とZOOM UK Distribution Ltd の持分法投資損益

年末商戦の影響により年の後半にかけて両社の利益は増加する傾向にある

### 持分法投資損益

(百万円)



※持分法投資損益＝持分法投資利益－租税公課（ZNAの法人税相当）

# 2019年12月期 連結業績予想



(百万円)

	18.12期 実績	19.12期					19.12期 当初予想	増減
		予想	増減額	増減率	3Q実績	達成率		
売上高	7,705	8,411	+706	+9.2%	6,248	74%	8,540	▲128
営業利益	260	281	+20	+8.1%	124	44%	616	▲334
経常利益	346	329	▲17	▲4.9%	101	31%	673	▲343
親会社株主に帰属する 当期純利益	318	252	▲66	▲20.8%	85	34%	473	▲220
EBITDA	601	545	▲56	▲9.4%	267	49%	864	▲318
一株当たり当期純利益	140.31円	110.74円	▲29.57円	▲21.1%			207.62円	▲96.88円
一株配当	43円	34円	▲9円	▲20.9%			63円	▲29
配当性向	30.6%	30.7%	—	—			30.3%	—
為替レート (円/米ドル)	110.4円	107円 (第4四半期)	—	—			108円	—

※当社の売上及び利益は年末商戦に合わせて下期に増加する傾向があります。

為替感応度（為替相場の変動が年間利益に与える影響）：1円の円高（円安）で営業利益が約20百万円減少（増加）

# 2019年12月期 連結カテゴリー別売上予想



(百万円)

	18.12期 実績	19.12期					18.12期 当初予想	増減
		予想	増減額	増減率	3Q実績	達成率		
ハンディオーディオレコーダー (HAR)	4,073	3,995	▲77	▲1.9%	2,999	75%	3,609	385
マルチエフェクター (MFX)	836	1,030	+194	+23.2%	730	71%	1,098	▲68
デジタルミキサー／マルチトラックレコーダー (DMX)	639	634	▲5	▲0.8%	419	66%	769	▲135
プロフェッショナルフィールドレコーダー (PFR)	591	556	▲35	▲6.0%	385	69%	690	▲134
ハンディビデオレコーダー (HVR)	357	514	+156	+43.8%	396	77%	536	▲21
Mogar取扱いブランド	680	1,182	+502	+73.9%	927	78%	1,237	▲54
その他	526	497	▲29	▲5.6%	388	78%	597	▲100
合計	7,705	8,411	+706	+9.2%	6,248	74%	8,540	▲128